

第 2 学 年 組 学 級 活 動 指 導 案

指導者 井元 潤一

1 題材名 学級生活の充実と向上 ～みんなの生活向上大作戦～

2 題材設定の理由

新年度が始まり、2ヶ月が経過しようとしている。生徒は新しい学級にも慣れ、係活動や当番活動にも友達と協力しながら取り組んでいる。しかしながら、その活動は受身的であり、自分から進んで学級生活や学校生活をよりよくしようとする生徒は少ないなど、自発的な態度が育っていない生徒の様子が見られる。

意識調査の結果、自分の学級のことは好きであり、学級をよりよくしたい、自分も役に立ちたいと思っている生徒が多いことが分かる。しかし、学級の役に立っていると感じている生徒は半数以下である。また、話し合い活動に対しては、自分の考えをもっていながら、進んで発表できていない生徒がいることも分かる。これらのことから、自分も学級の一員として役に立つ活動をしたいと思いつつも、実際の活動においては自信がなく、一歩を踏み出せない生徒の実態がうかがえる。

そこで、本題材では、学級生活の充実と向上を図ることをねらいとした「～みんなの生活向上大作戦～」を設定し、生徒主体の活動を進めることにより、生徒の自発的な態度を高めていきたい。活動を進めるにあたっては、問題発見の場、活動計画を立てる場、実践活動の場、振り返りの場を指導過程に位置付け、それぞれの場に小集団活動を効果的に取り入れる。小集団での活動は、一人一人の活動の場が多くなるというよさがある。また、生徒が互いの活動を認め合うことで、自信をもつきっかけをつかむことも期待できる。このように活動を進めていくことにより、生徒の自発的な態度を高めることができ、学級生活の充実と向上にも進んで取り組むことができるようになることを考える。

【意識調査】(男子10人、女子12人、計22人)

質 問 項 目	よくあてまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
自分の学級が好きである。	11	10	1	0
学級をよりよくしたいと思う。	12	9	1	0
学級の役に立ちたいと思う。	12	8	2	0
学級の役に立っているとと思う。	2	7	11	2
自分の考えをもって話し合いに参加している。	5	10	7	0
話し合いで自分の考えを発表できる。	5	4	11	2

3 指導目標

- 学級生活や学校生活の課題を見つけ、その解決を目指し、みんなの生活向上大作戦に進んで取り組むことができる。
(関心・意欲・態度)
- みんなの生活向上大作戦の計画づくりや実践活動の改善について、自分なりの考えをもつことができる。
(思考・判断)
- 学級の一員としての自覚をもち、話し合いで自分の意見を述べたり、友達の意見を聞いたりすることができるとともに、自己の役割を意識しながら実践活動に取り組むことができる。
(技能・表現)
- みんなの生活向上大作戦のねらいを理解し、話し合い活動や実践活動に取り組むことができる。
(知識・理解)

4 指導計画

日時	階級	活動のねらい	活動内容	小集団に関する教師の働きかけ等
5/9 朝の会	小集団	○小集団の一員として、今後の活動への意欲をもつことができる。	・小集団ごとに顔合わせを行う。 ・今後の活動予定について知る。	・小集団の雰囲気や生徒の表情をよく観察し、編成が適切であったかを確認する。
帰りの会	小集団	○議題提案のための話し合いに進んで取り組むことができる。	・議題提案のための話し合いを小集団で行う。	・小集団での初めての活動となる各小集団を回りながら活動の様子を見守る。
放課後	小集団代表	○話し合いを通して議題を決めることができる。	・小集団の代表が集まり議題を決定する。(12日に朝の会で知らせる) ・計画委員は小集団1班が務める。	・各小集団で出された議題案を代表者が説明することにより、生徒の思いが伝えられるようにする。
5/12 放課後	小第1回班	○話し合い活動①の計画案を作成することができる。	・当日の役割分担 ・計画案の作成	・小集団内で互いの希望をもとに話し合いを通して役割を決めるようにする。
5/13 帰りの会	個人	○学級や学年、学校の生活上の課題に目を向けることができる。	・学級や学年、学校の生活上の課題を意見カードに書く。	・意見カードには教師がコメントを入れることにより、自信をもって小集団の話し合いに参加できるようにする。
5/19 話し合い活動① 問題発見の場	学級全体	○学級や学年、学校の生活上の課題についての話し合いに進んで参加し、課題解決に向けての意欲をもつことができる。	①小集団ごとに生活上の課題について出し合う。 ②話し合ったことを発表する。 ③全体で解決すべき課題について小集団で話し合う。 ④全体で話し合い、課題をまとめる。 ⑤本時の活動の振り返りを行う。	・話し合いの前に小集団対抗で簡単なゲームを行うことにより、発表しやすい雰囲気づくりを行う。 ・個人から小集団、さらに全体へと話し合いを進めていくことで課題意識が深められるようにする。
放課後	小第1回班	○計画委員としての活動を振り返り、今後の活動に生かしていくことができる。	・計画委員としての反省 ・学級全体における話し合い活動の反省 ・小集団2班への引継	・それぞれの役割に応じて、よかった点を認めることにより、今後の活動への意欲付けを図る。
	小第2回班	○話し合い活動②の計画案を作成することができる。	・当日の役割分担 ・計画案の作成 ・意見カードの準備	・1班の反省も参考にしながら、話し合いを通してよりよい活動が目指せるようにする。
5/20 帰りの会	個人	○学級生活の充実と向上を図るための活動について、自分の考えをもつことができる。	・みんなの生活向上大作戦の活動内容について、自分のアイデアを意見カードに記入する。	・意見カードには教師がコメントを入れることにより、自信をもって小集団の話し合いに参加できるようにする。
5/26 話し合い活動② 活動計画を立てる場	学級全体	○みんなの生活向上大作戦に向けて意欲的に話し合い、実践への意欲をもつことができる。	①計画案について小集団ごとに検討する。 ②話し合ったことを発表する。 ③全体で検討する。 ④各小集団ごとに活動内容を決め、計画を立てる。(実態カードの記入) ⑤本時の活動の振り返りを行う。	・前回の話し合い活動の振り返りをもとに、生徒や小集団に対する声かけを行う。 ・計画づくりでは、小集団の目標を設定し、それをもとに個人の目標を決めることにより、集団の一員として進んで活動に取り組めるようにする。
5/26 放課後	小第2回班	○計画委員としての活動を振り返り、今後の活動に生かしていくことができる。	・計画委員としての反省 ・学級全体における話し合い活動の反省 ・小集団3班への引継	・それぞれの役割に応じて、よかった点を認めることにより、今後の活動への意欲付けを図る。
	小第3回班	○話し合い活動③の計画案を作成することができる。	・当日の役割分担 ・計画案の作成	・2班の反省も参考にしながら、話し合いを通してよりよい活動が目指せるようにする。
5/27 ↓ 6/3 実践活動の場	小集団	○各小集団ごとの計画をもとにみんなの生活向上大作戦に進んで取り組むことができる。	・各小集団の計画のもとに実践する。 ・帰りの会で振り返りを行い、今後の活動についての改善点について話し合う。	・振り返りで互いの活動を認め合ったり、改善のための話し合いの場を設定したりすることにより、小集団の一員として役立っている自分を実感できるようにする。
6/3 話し合い活動③ 振り返りの場	学級全体	○活動の成果を紹介し合うとともに、今後の活動についての考えをもつことができる。	①各小集団で発表の準備をする。 ②各小集団ごとで活動内容の発表をする。(他の班に対するコメントカードの記入) ③コメントカードを読み合う。 ④本時の活動の振り返りを行う。 ⑤今後の活動に向けての意欲をもつことができる。	・発表の準備を通して自分たちの活動を振り返ることができるようにする。 ・コメントカードを読み合うことにより、お互いの活動を認め合い、新たな意欲がもてるようにする。 ・論議が活発になるようにする。
6/3 放課後	小第3回班	○計画委員としての活動を振り返り、今後の活動に生かしていくことができる。	・計画委員としての反省 ・学級全体における話し合い活動の反省	・それぞれの役割に応じて、よかった点を認めることにより、今後の活動への意欲付けを図る。

5 本時の学習（第1時）

- (1) 目標 学級や学年，学校の生活上の課題についての話し合いに進んで参加し，課題解決に向けての意欲をもつことができる。
- (2) 資料・準備 ①個人カード（各自），②話し合いの記録（書記），③付箋紙（一人5枚），④記録用紙（グループ），⑤発表者記録表（副司会）
- (3) 展開

議題	より豊かな学校生活を送るために… 学級，学年，学校の課題を考えよう！		
役割	小グループ1班（司会，副司会，黒板書記，ノート書記）		
提案理由	1学期も残り半分となった。学級生活や学校生活を振り返り，より豊かな生活を目指したい。そこで，現在の課題は何か，話し合いを通して洗い出したい。		
	活 動 内 容	○教師のはたらきかけ ※評価	資料
	☆ウォーミングアップ 1 はじめの言葉（副司会）	○グループ対抗で簡単なゲームを行うことにより発表しやすい雰囲気づくりをする。 (例) 国の名前を1分以内でできるだけ多く出す。	① ②
	2 議題の確認と提案理由の説明（司会）	○教師が補足説明することにより，話し合いのねらいが十分に理解できるようにする。	
	3 めあての記入		
	4 話し合い (1)各グループごとに，学級や学年，学校の課題を出し合う。	○ KJ 法を活用しながら，グループの意見を分かりやすくまとめていくことができるようにする。 ○発表が苦手な生徒にも発言の機会が平等になるよう，各グループの司会の生徒に指示しておく。 ※進んで話し合いに参加しているか。（観察）	③ ④
	(2)各グループごとに発表する。	○各グループごとに発表者を決める。発表が苦手な生徒にも働きかけをしてみるよう，各グループの司会の生徒に指示しておく。（無理はさせない） ○分かりやすく整理するよう黒板書記の生徒に指示しておく。	⑤
	(3)個人の努力で解決できるものと学級として話し合いの必要があるものに分類する。	○グループで話し合うことにより，進んで自分の考えが述べられるようにする。教師は各グループを回り，話し合いが滞っているときには声をかけ，相談に応じる。	
	(4)話し合ったことを発表し話し合い，課題について全体で確認する。	○机をコの字の形にし，互いの顔を見合って発表が聞けるようにする。 ○課題を司会の生徒が確認することにより，一人一人の生徒が「みんなの声」として受け止めることができるようにする。	
	4 教師の話	○本時の活動でよかった点を認めるとともに，課題解決に向けて，どのように取り組んでいくか生徒に投げかけることにより，今後の活動につなげていくことができるようにする。	
	5 活動の振り返り (自己評価・相互評価・学級全体の評価)	○グループ内で相互評価を行うことにより，本時の活動への充実感が持てるようにする。また振り返りカードは，教師がコメントを書くことにより，各生徒の頑張りや成長を認めるようにする。 ※学級の課題解決に向けて活動意欲を高めることができたか。（観察・意見カード）	①
	6 終わりの言葉（副司会）		

5 本時の学習（第2時）

- (1) 目標 みんなの生活向上大作戦に向けて意欲的に話し合い、実践への意欲をもつことができる。
- (2) 準備・資料 ①個人カード（各自）、②話し合いの記録（書記）、③活動予定表（各自）、④発表者記録表（副司会）、⑤実践カード（各自）
- (3) 展開

議題	2 A オリジナルプロジェクト みんなの生活向上大作戦の計画を立てよう	
役割	小グループ2班（司会、副司会、黒板書記、ノート書記）	
提案理由	前回の話し合い活動で学級生活の課題が出された。その中で、学級のまとまりに関する問題が提起された。そこで、2 A が一丸となって学級のため、学年のため、地域のためにできることを考え、実践していきたいと考えた。実践期間は1週間としたい。	
活動内容	○教師のはたらきかけ ※評価	資料
☆ウォーミングアップ	○活動に入る前に簡単なゲームを行うことにより、話し合いのしやすい雰囲気づくりを行う。	① ②
1 はじめの言葉（副司会）		
2 議題の確認と提案理由の説明（司会）	○活動予定表をもとに、本時や今後の予定を確認することにより活動の見通しがもてるようにする。	③
3 教師の話	○前回の学級活動の振り返りをもとに、本時の話し合いにおける課題を話すことにより、活動への意欲がもてるようにする。前時の反省より、活動のねらいについても補足する。	
4 めあての記入	○話し合いの時間を確保するため、計画案は意見カードをもとに事前にまとめておき、生徒に配布するとともに、黒板にも提示しておく。	
5 話し合い	○前回、自己評価の低かった生徒を中心に声をかけていく。	
みんなの生活向上大作戦の計画を立てよう。	○グループ内の生徒から多くの意見を引き出すよう司会の生徒に伝えておく。	
(1)各グループごとに計画案について検討する。	○机をコの字の形にし、互いの顔を見ながら話し合いが進めていけるようにする。	④
(2)全体で話し合う。	※自ら進んで意見を発表したり、友達の意見を聞いたりしながら話し合いを深めているか。（観察）	
(3)全体での話し合いをもとに、各グループで内容を決め、役割を分担する。	○相談がある場合には声をかけるよう指示をしておくとともに、各グループを回り、活動の様子を見守る。	⑤
6 活動の振り返り（自己評価、相互評価、学級全体の評価）	○相互評価の行い方について、例を挙げながら助言することにより、友達のよさをカードに書けるようにする。さらに教師がコメントを書き、各生徒のよさを認めることにより生徒が自信をもてるようにする。特に、自己評価の低い生徒に対しては、直接声をかけ、生徒の思いに耳を傾ける。	①
7 終わりの言葉（副司会）	※学級生活パワーアップ作戦に向けて、実践への意欲をもつことができたか。（意見カード）	

5 本時の学習 (第3時)

(1) 目標 活動の成果を紹介し合うことにより、互いのがんばりを認め合うとともに、今後の活動について自分なりの考えをもつことができる。

(2) 資料・準備 ①個人カード (各自)、②話合いの記録 (書記)、③活動予定表 (各自)、④発表シート (グループ)、⑤実践カード (各自)、⑥コメントカード (各自)

(3) 展開

議題	みんなの生活向上大作戦の成果を紹介し合おう。	
役割	小グループ3班 (司会, 副司会, 黒板書記, ノート書記)	
提案理由	みんなの生活向上大作戦をグループごとに行ってきた。互いの成果を出し合い、思いを交流することにより、今後の活動について考えていきたい。	
活動内容	○教師のはたらきかけ	※評価
☆ウォーミングアップ 1 はじめの言葉 (副司会) 2 議題の確認と提案理由の説明 (司会) 3 教師の話 4 めあての記入 (各自) 5 話合い	○活動に入る前に簡単なゲームを行うことにより発表しやすい雰囲気づくりをする。 ○活動予定表をもとに、本時や今後の予定を確認することにより活動の見通しがもてるようにする。 ○前回の学級活動の振り返りをもとに、本時の話合いにおける課題を話すことにより、活動への意欲がもてるようにする。 ○グループ内で互いのめあてを知らせることにより、友達同士でめあて達成のために協力できるようにする。	① ② ③
みんなの生活向上大作戦の成果を紹介し合おう。	○活動の様子について事前に把握しておくことにより、それぞれのグループに対して適切な支援ができるようにする。 ○発表シートを用意することにより、手際よく活動が進められるようにする。 ○各グループを回り生徒の相談に対応する。特に前回活動が低調であった3班の様子をよく見る。 ○机をコの字の形にし、互いの顔を見ながら発表が聞けるようにする。また、各グループに対してそれぞれ感想を書き (コメントカード)、発表終了後に読み合うことにより互いのがんばりを認め合うことができるようにする。 ○教師も各グループを回りながら、それぞれの活動を賞賛することにより、生徒が充実感をもてるようにする。	④ ⑤
(1) 各グループごとに発表の準備をする。(10分)	※互いのがんばりを認め合うことができているか。(コメントカード)。	⑥
(2) 各グループごとに発表する。(各グループ2分程度)	○活動の振り返りを行うとともに、今後の活動に対する思いを書かせることにより、今後の活動に対する課題意識をもたせ、議題化へとつなげていく。 ※今後の活動に対する課題意識をもつことができたか。(意見カード)	⑥
(3) コメントカードをグループごとに読み合う。	○個人カードには、生徒のよさを認めるコメントを教師が書くことにより、学級の一員として今後の活動に主体的に取り組めるようにする。	①
6 振り返り (本時の活動の評価、みんなの生活向上大作戦の活動に対する評価)		
7 終わりの言葉 (副司会)		